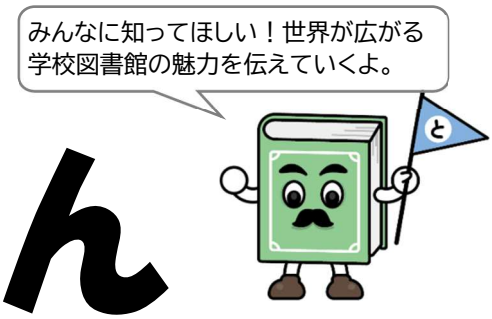
八王子市学校図書館サポートセンター　広報紙

# としょえもん




令和７年度第３号(通巻 51 号)

## 令和７年度「図書館を使った　調べる学習コンクール」入賞おめでとう

左から安間教育長・教育長賞の加藤さん・市長賞の九里さん・教育長賞の中本さん・初宿市長
（表彰式：令和７年(2025 年)12 月9日市役所応接室にて）

### 【総評】

鎌田　和宏　氏(帝京大学教授)

第９回『調べる学習コンクール』には 1386 点の作品の応募がありました。なんと昨年度比約 65％増の応募でした。

応募の内訳を見てみると小学生 982 点(約 37％増)、中学生 404 点(約 226％増)でした。今回は特に中学校の応募が増えたことが特徴で、嬉しく思います。

応募作品の中から、市長賞に九里梓葉さん(陶鎔小)、教育長賞に加藤梓美さん(由井第三小)・中本慧さん(横山中)が選ばれました。この3人の他、優秀作品が第 29 回全国コンクールに出品され、21 作品が奨励賞・佳作に選ばれました。

八王子市のコンクールの第1回から今回まで応募作品を拝見していますと、年々作品の質が高まり、学校での取組も熱心になってきたと感じます。今年度は加住小中学校が小5～中3の縦割り合同授業(99 名参加)で郷土新聞づくりに取り組み、作成した作品が印象的でした。本コンクールは市制 100 周年を記念して始まったコンクールです。郷土について調べ、知見を広げ・深めることは意義深いことです。

第 10 回も積極的な応募を期待しています。

## 市　長　賞　講　評

**樋口　忍　氏（元明星大学客員教授）**

**市長賞**
陶鎔小学校６年　九里梓葉さん
「水族館がつむぐ　シロワニのきせき」

九里梓葉さんの作品「水族館がつむぐ　シロワニのきせき」が市長賞に選出されました。この作品は最初にシロワニに興味を持ったきっかけや理由がしっかり述べられています。そして、調べていく過程で次々と興味がわき、シロワニと他のサメとの違いや特性を調べ、シロワニの本質に迫って行きます。その過程や表現から九里さん考え方ものの見方や探究心が明確に伝わってきました。

また、調べる学習の観点からも文献調査や実際に水族館に赴き写真や資料をもとに調査を行っています。そこからシロワニについて理解を深め、さらに自分の考えや気付いたことも述べられています。整理の仕方や作品の美しさもとても素晴らしいものでした。

## 教　育　長　賞　講　評

**秋本　浩市　氏（元帝京大学客員准教授）**

「小さな大豆の大変身」

すぐに読みたくなるテーマです。加藤さんは、学校で豆腐屋さんに行った時、豆腐が大豆からできていることを知り、他にどんな食べ物に変わるか知りたくなりました。飽くなき探究心です。大豆について調べ、大豆からできる味噌、醤油、納豆、豆乳、豆腐、大豆油等々、実際に作り、その行程を写真や文章でまとめるなど主体的に行動しています。自分の足で大豆製品を作る施設に訪問する追求心には感銘しました。教育長賞にふさわしい素晴らしい作品になりました。

**教育長賞**
由井第三小学校３年　加藤梓美さん
「小さな大豆の大変身」

「学校図書館　がんばる」

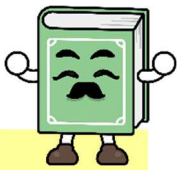
中本さんは昨年に引き続きの受賞となりました。今年は学校図書館について調べ、全64ページにも及ぶ大作ができました。大学生の卒業論文にも匹敵する力作です。第1部の「図書館とは何か」からはじまり、第3部では文献などで調べて抱いた考えを随所に表し、最後に学校図書館の課題と今後の可能性について論を展開しています。彼は、これまでも学校の先生や地域の方へのインタビュー、インターネット等で詳しく調べ大変努力してきました。様々な文献に当たり、素晴らしい調べ学習ができました。

**教育長賞**
横山中学校３年　中本慧さん
「学校図書館　がんばる」

令和8年度の「図書館を使った調べる学習コンクール」の作品募集は7月頃に学校や公共図書館でお知らせを配布します。
（学校図書館サポートセンター）

**優秀賞以上の 21 作品を図書館振興財団主催の全国コンクールへ出品しました**
**全国コンクールの結果は QR コードから**

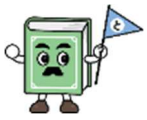
| 賞 | 校名 | 学年 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 市長賞 | 陶鎔　小学校 | 6　年 | 九里　梓葉 |
| 教育長賞 | 由井第三　小学校 | 3　年 | 加藤　梓美 |
| | 横山　中学校 | 3　年 | 中本　慧 |
| 優秀賞 | 秋葉台　小学校 | 1　年 | 本多　匠 |
| | 城山　小学校 | 1　年 | 黒野　樹 |
| | 小宮　小学校 | 2　年 | 木口　麻莉 |
| | 緑が丘　小学校 | 2　年 | 今井　悠貴 |
| | 小宮　小学校 | 2　年 | 久保田　篤己 |
| | 大和田　小学校 | 3　年 | 河﨑　愛子 |
| | 由木中央　小学校 | 3　年 | 萩原　陽菜子 |
| | 由木東　小学校 | 3　年 | 岩田　清花 |
| | 鹿島　小学校 | 4　年 | 齋藤　佳桜 |
| | 七国　小学校 | 4　年 | 坂本　悠真 |
| | 七国　小学校 | 4　年 | 中村　誠大 |
| | 椚田　小学校 | 5　年 | 村上　心都 |
| | 大和田　小学校 | 5　年 | 内藤　由佳子 |
| | 緑が丘　小学校 | 5　年 | 林　蓮太郎 |
| | 小宮　小学校 | 6　年 | 松岡　直 |
| | 元八王子東　小学校 | 6　年 | 三野　清子 |
| | 別所　中学校 | 1　年 | 田中　佐和乃 |
| | 別所　中学校 | 1　年 | 飯澤　結乃 |



学校賞は
学級や学年で取り組んだ作品を
まとめて応募した学校です

| | |
|---|---|
| 学校賞 | 八王子市立第五小学校 |
| | 八王子市立第七小学校 |
| | 八王子市立第九小学校 |
| | 八王子市立上壱分方小学校 |
| | 八王子市立川口小学校 |
| | 八王子市立加住小学校 |
| | 八王子市立七国小学校 |
| | 八王子市立鹿島小学校 |
| | 八王子市立松が谷小学校 |
| | 八王子市立第一中学校 |
| | 八王子市立ひよどり山中学校 |
| | 八王子市立加住中学校 |
| | 八王子市立別所中学校 |
| | 八王子市立いずみの森義務教育学校 |

## ―――審査に参加して―――



いずみの森義務教育学校
教諭　有働　文佳

審査を務め、まず驚いたのは、興味をもったことに対する探究心と熱意が、どの作品からも強く伝わってきたことです。自分のテーマに合う本を見つけることは決して簡単ではありませんが、この時期にその経験を積むことは、今後の学びの土台となります。また、自分の考えに対して根拠を示し、伝える力の大切さを感じました。「知りたい」「学びたい」という内発的な動機こそが、学びを深める原動力であることを審査に参加させていただき改めて実感しました。

第六中学校
国語科教諭　清水　成美

今回、調べる学習コンクールの審査を通して、どの作品からも「知りたい」「伝えたい」という思いが強く感じられました。資料を丁寧に読み取り、自分なりに整理し、工夫してまとめている点が印象的でした。八王子市に関するテーマも多く、身近な地域に目を向けて深く掘り下げる姿勢に、児童生徒の熱量を感じました。今後、さらに探究を深めていく姿が楽しみであり、今後の成長に期待しています。

## インターネットだけじゃない！　百科事典の魅力

元八王子中学校では、特別支援学級の生徒たちが、百科事典『ポプラディア』を使った調べ学習に取り組みました。百科事典の特性や使い方を理解し、うまく使いこなして、必要な情報を引き出せるようになるのが狙いです。

元八王子中学校の授業のようす

「百科事典に載っている情報は、多くの専門家が吟味しているので信頼できます。それに、ページを開くと、一度にたくさんの言葉が目に入ってくるから、語彙力もアップしますよ」学校司書の説明に、真剣に耳を傾ける生徒たち。動画を見ながら、『ポプラディア』の使い方のコツを学んだ後は、いよいよ実践です。

「スーパーマンは、なに人？」「つけめんを考案したラーメン店の名前は？」シートに書かれた問題を読み、ヒントになる言葉を『ポプラディア』で調べて、答えを探します。一つの言葉を調べたことで、そこからまた新しい疑問が沸き、さらに別の言葉を調べて……と、次々に興味を広げていく生徒もいました。

最後に、それぞれが調べた言葉や取り組んだ問題の答えを発表しあうと、「へえ～っと思うことがいっぱいあって、面白かった」という声があがりました。インターネットとは異なる百科事典の良さを発見し、情報を調べる際の選択肢の幅を広げることができたようです。

教えて

## 校長先生！おすすめの本はなんですか？

八王子市立川口中学校
校長　寺沢　亮

**『流れる星は生きている』**
藤原てい　著
中央公論新社

戦後の満州から日本への引き揚げを体験した著者、藤原てい自身のノンフィクションです。極限の状況の中で、夫と離れ離れになりながらも、幼い子ども三人を自分一人で日本へ連れ帰りました。飢えや寒さ、恐怖に立ち向かう姿は、生きる力と家族を守る愛情の大切さを私たちに深く伝えてくれます。引き揚げ前は物静かだった女性が、母としての強さと責任感を身につけ、「猛女」となるほどに必死で生き抜いた姿は読む者の胸を打ちます。本書は、中学生の今、そして大人になってからもぜひ読んでほしい一冊です。

八王子市立松枝小学校
校長　萩原　幸枝

**『ねこはしる』**
工藤直子 作
童話屋

子供たちに人気の詩集「のはらうた」の作者である工藤直子さんの作品です。のろまの猫ランと小さな池の魚のお話です。猫と魚といえば、食う食われる関係です。そんな2人にいつしか友情が生まれていきます。ある日、魚とり競争が行われることになりました。大事な友達である魚を食べるなんて、猫のランにできるわけが…。生きるとは何か。本当の友情とは何か。親子で読みながら、泣きながら一緒に考えてほしいお話です。

発行：令和８年（2026 年）３月２日
八王子市教育委員会
教育指導課　学校図書館サポートセンター
問い合わせ：042-664-1193